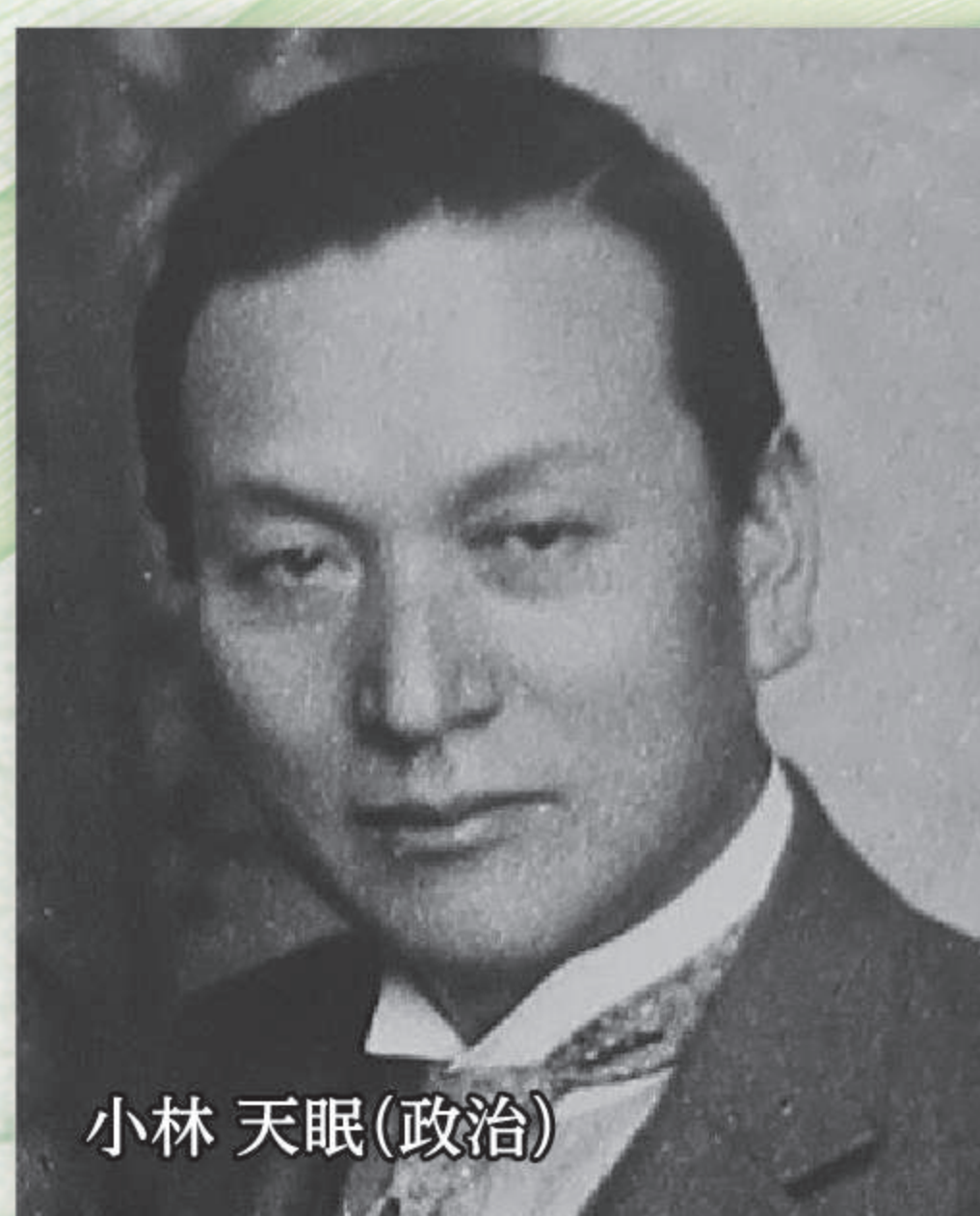


京都学・歴彩館 2つの文学資料

— 与謝野鉄幹・晶子、 吉井勇とその時代 —



小林 天眠(政治)



与謝野 鉄幹(寛)



与謝野 晶子



吉井 勇

会期

令和4年 1月15日(土) ~ 3月6日(日)

休館日: 2月9日(水)、11日(金)、23日(水)

開室時間

9時00分~17時00分

会場

京都学・歴彩館 1階展示室

入場無料

京都学・歴彩館には「天眠文庫関係資料」と「吉井勇資料」という2つの近代文学資料があります。これら2つの資料群には、文学の動向にとどまらず、20世紀前半(明治末から昭和半ば)の京都、ひいては日本の世相をうかがい知ることのできる、作品・原稿・書簡等が数多く含まれています。

本展では2つの資料群にある、小林天眠、与謝野鉄幹・晶子、吉井勇の関係資料を通じて、その時代の社会像の一端に迫ります。

入室制限について

三密の状態をさけるために、入場制限等を行う場合があります。

詳しくは、当館のホームページをご確認ください。

主催: 京都府立京都学・歴彩館 〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-29

TEL 075-723-4831

講演会

令和4年2月19日(土) 13時30分~16時30分

13時00分開場 会場:京都学・歴彩館大ホール

定員240名
入場無料・先着順



① 「人生の残夢春秋——日記から見る吉井勇と京都」

静岡県立大学国際関係学部教授 細川 光洋 氏

略 歴

早稲田大学教育学研究科博士課程単位取得退学。立教英国学院、桐蔭学園中等教育学校教諭、高知工業高等専門学校准教授を経て2015年より現職。専門は日本近代文学(吉井勇・北原白秋ら明星派歌人、谷崎潤一郎、寺田寅彦)。日本近代文学会、国際啄木学会、明星研究会等に所属。京都学・歴彩館に所蔵されている吉井勇の戦中・戦後の日記の翻刻・研究を継続して行っている。

主な著作・編著

『吉井勇の旅靴—昭和初年の歌行脚ノート』(2021)短歌研究社、『小谷契月作品集』(2021)(小松朗氏との共編桂書房)、吉井勇全歌集』(2016)中公文庫、『湯川秀樹歌文集』(2016)講談社文芸文庫、『寺田寅彦セレクションI、II』(2016)(千葉俊二氏との共編、講談社文芸文庫)、『地震雑感／津浪と人間』寺田寅彦随筆選集(2011)(千葉俊二氏との共編、中公文庫)など。



② 「与謝野晶子・吉井勇と『源氏物語』」

元慶應義塾大学教授 田坂 憲二 氏

略 歴

日本文学研究。専門は『源氏物語』を中心とした平安時代文学。『源氏物語の人物と構想』(1993)で博士(文学)。ほかに和歌文学、出版文化史も手がける。福岡女子大学・群馬女子大学・慶応義塾大学各教授を歴任。2018年定年退職。本講演会に関連するものでは、全国大学国語国文学で「与謝野源氏と谷崎源氏」、「吉井勇の富山時代」、和歌文学会で「吉井勇の幻の歌集『神杉』と『決戦歌集』」の等の研究報告がある。

主な著作・編著

『源氏物語の政治と人間』(2017)、『日本文学全集の時代』(2018)(共に慶應義塾大学出版会)、『源氏物語論考』(2018)、『大学図書館の挑戦』(2006)(共に和泉書院)、『名所旧蹟』(2015)日本古書通信社、『源氏物語享受史論考』(2009)風間書房、『源氏物語の方法を考える—史実の回路』(2015)(編著、武蔵野書院)など。

展示解説

- ・ 1月27日(木) 14時15分~
- ・ 2月5日(土) 14時15分~
- ・ 2月17日(木) 14時15分~

※各回30分程度。このほか臨時に随時

アクセス

京都府立 京都学・歴彩館
Kyoto Institute, Library and Archives

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-29 電話:(075)723-4831

▶電 車

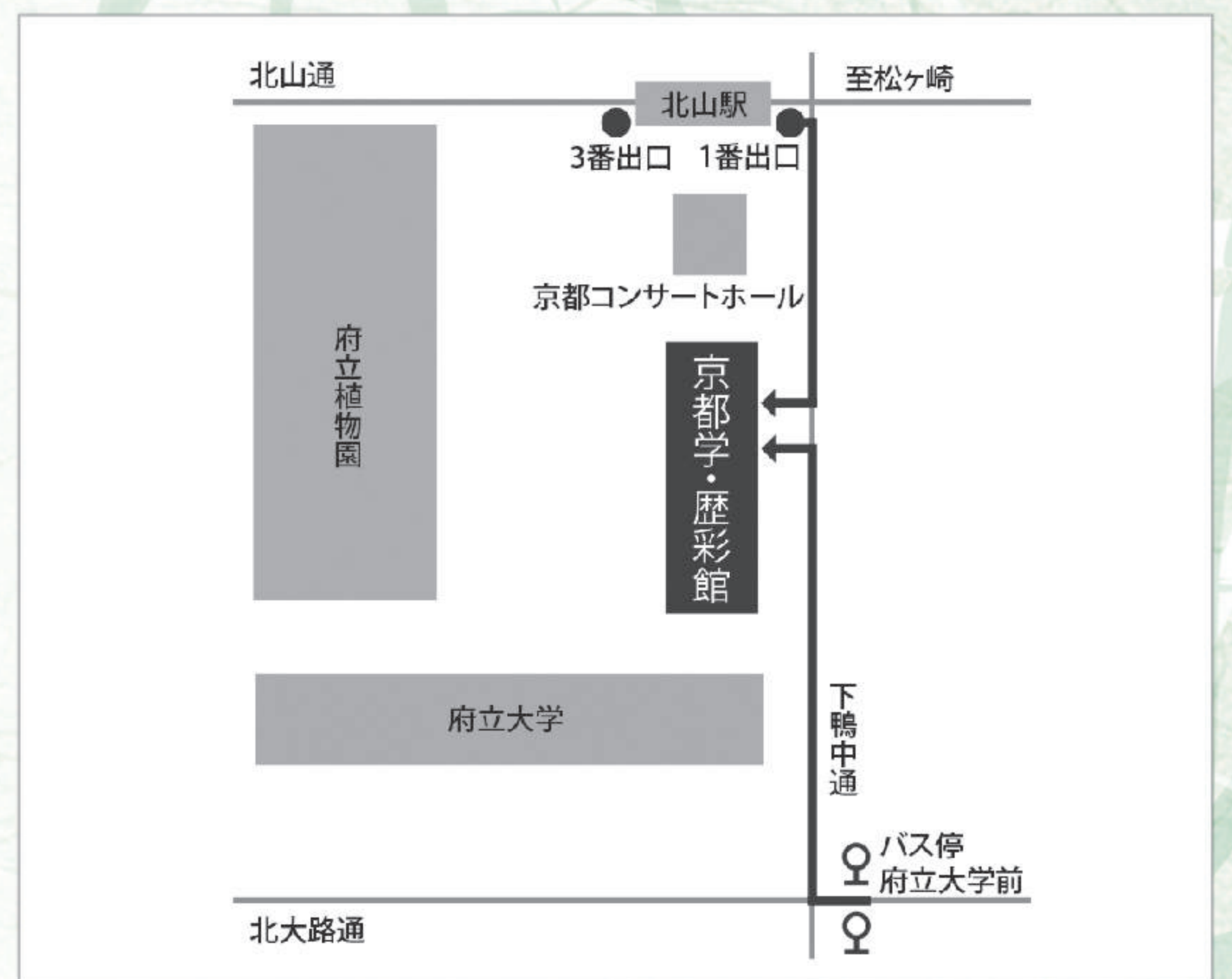
京都市営地下鉄烏丸線[北山駅]下車(①出口) 南へ徒歩約4分

▶バ ス

京都市バス1系統、204系統、206系統「府立大学前」(北大路通)下車 北へ徒歩約6分

▶駐 車 場

31台(有料)



新型コロナ対策
推進中! COVID 19



発熱のある方の
入館はご遠慮
願います



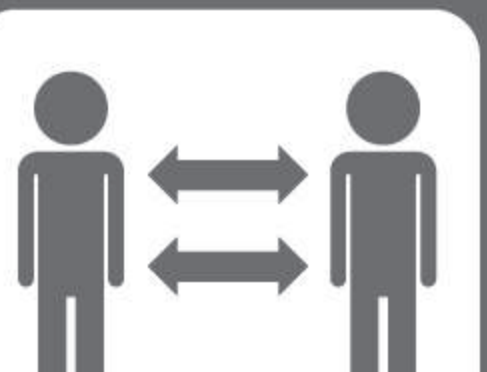
マスクを着用
しましょう



入館の際は
消毒を
お願いします



手を洗いましょう



距離を
とりましょう



安心生産事業の創造

日本パナユーズ株式会社